



2017年5月12日

各 位

会社名 インフォテリア株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 平野洋一郎  
 (コード番号:3853 東証マザーズ)

問合せ先 執行役員コーポレート本部長 齊藤裕久  
 (TEL 03-5718-1250)

### 通期業績の前期実績との差異に関するお知らせ

当社は、2017年3月期（2016年4月1日～2017年3月31日）にかかわる業績につきまして、前期実績との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 前期実績との差異について

##### ① 2017年3月期通期連結業績と前期実績との差異（2016年4月1日～2017年3月31日）

	売上収益	営業利益	税引前利益	親会社株主に 帰属する当期 利益	基本的1株当た り当期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前期 (2016年3月期) 実績(A)	1,588	272	254	131	8.79
当期 (2017年3月期) 実績(B)	1,621	301	303	230	15.52
増減額(B-A)	33	29	49	100	—
増減率(%)	2.1	10.5	19.2	76.5	—

##### ② 2017年3月期通期個別業績と前期実績との差異（2016年4月1日～2017年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前期 (2016年3月期) 実績(A)	1,573	365	355	108	7.30
当期 (2017年3月期) 実績(B)	1,603	288	283	193	13.01
増減額(B-A)	30	▲77	▲71	85	—
増減率(%)	1.9	▲21.1	▲20.1	78.6	—

#### 2. 差異の生じた理由

##### ① 連結業績

売上収益は、前期に比べ主力製品「ASTERIA」及び「Handbook」の販売が好調に推移し増加しました。

「ASTERIA」においては、製品サポート及び「ASTERIA WARP」をクラウド使用などの新しい使用形態に対応した月額使用料型で提供するサービスが特に好調となり、「Handbook」においては、新規販売に加えて既存顧客ユーザーの増加となりました。

利益につきましては、主力製品の販売が好調に推移したことに加え、海外子会社の事業活動の見直しによる合理化及び、ソフトウェア資産の償却費や株式評価損の減少により、営業利益、税引前利益、親会社株主に帰属する当期利益ともに前期を上回ることとなりました。

## ② 個別業績

売上高の増加理由は連結業績に記載のとおりです。利益につきましては、体制強化による人件費、新製品の研究開発費用及びThis Place Limitedの株式取得に関連する費用の増加により営業利益、経常利益は前期を下回ることとなり、当期純利益については、保有する有価証券の一部売却に伴う売却益の発生や株式評価損の減少により、前期を上回ることとなりました。

※2017年3月期の業績につきましては、本日公表の「平成29年3月期 決算短信」をご参照ください。

以 上